

対象者:7名

長与校

実施時期:令和4年10月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			学習室、指導訓練室を分け活動出来ている。又児童の様子に合わせ個室の利用等行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			標準基準以上の配置を行い、適切な人員配置を組んでいる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	4	玄関に段差(2段ほど)があるが、室内はフラットでおおむね適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2		会議やミーティング等で都度振り返りを行っている。業務で改善すべき点は共有し業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者から頂いたご意見は指導員で話し合い業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2		第三者委員を設置し、評価頂いている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			オンラインセミナーや外部研修等に積極的に参加させて頂いている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			面談やモニタリングを基に相談支援事業所と連携を図り、アセスメントを適切に行い保護者や児童のニーズを把握し計画書作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			家庭での様子、学校での様子を把握し、情報収集に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			午前中指導員全員で話し合い、児童に合ったプログラムを立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			様々な案を取り入れ、季節のイベント、戸外活動、ダンス教室への参加、集団遊び等工夫して行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			利用時間に合わせて活動の内容を設定している。長期期間はスケジュール表を立て準備を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			児童の特性やその日の情緒面、体調を考慮し活動の計画立てを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			児童を受け入れる前(午前中)に話し合い指導員間で確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			緊急でない場合翌日の午前中を中心に実施している。その日休みの指導員にも周知を徹底している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			業務日誌、支援記録の書き方を見直す研修を行い、指導員全体で書き方の統一を行った。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			モニタリング時期(6か月毎)には会議を行い、定期的に支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			生活スキルの向上、創作活動、社会性の向上等、偏りがないう組み合わせながら活動に取り組んでいる。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			担当指導員や児発管が主に参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			急な下校時間の変更で連携が上手くいかないこともあるが、その他は密に連絡し合い連携を図っている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	3	現在医療的ケアが必要な児童がいないが、主治医などを把握し緊急時には迅速に対応できるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1		保護者や児童発達支援事業所からの情報を頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2		現在該当者はいないが、必要に応じて情報提供できるよう準備は整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		コロナで研修の場が少ないが、オンライン研修セミナーに積極的に参加している。また、療育の見学等積極的に行っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7			児童クラブや公園等で地域の児童と一緒に遊ぶ機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7			長与町内のこども部会へ参加を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡帳や電子メールで連絡を取り、送迎時に話を言い連携を取れるよう心がけている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		行っていない。今後長崎市、長崎県が委託している制度の活用など行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			見学や体験時、契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			悩みや相談があった際は傾聴し助言を行っている。保護者から相談しやすい雰囲気作りに努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	4	保護者の意見等があれば検討していきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			職員間で情報を共有し改善に努めている。苦情やトラブルが発生した時は児発管や管理者が迅速に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		会報は発行していない。連絡帳や文書、LINE、電子メール等で行事予定等を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			アルバイトの大学生に至るまで徹底している。個人情報が記載してある書類の
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			現在特別に配慮が必要な利用者がいない。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	4	コロナ渦で当面は難しいと思っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		その都度必要に応じてマニュアルの改正を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			今年度より年4回の避難訓練を実施している。報告書や連絡帳で周知している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			長与町からの出前講座(虐待防止)や虐待防止オンラインセミナー等に参加を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			利用児童の安全確保の為行うことがある事を計画書に記載し、保護者に説明を行い了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		利用開始時に食物アレルギーの有無確認を行い、周知を徹底している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			報告書を作成し共有している。